

更新版 * 1

飲食POS消費税増税関連変更手順書 (FS-87 オーダーストリーム21) 設定ツール版

2014年3月10日
第2版

マニュアル番号： HP87T01

はじめに

はじめに

本手順書は、2014年4月1日からの消費税税率変更対応時の設定変更マニュアルです。
本手順書では、東芝テック株式会社が提供しているFS-87オーダーシステム21
のPOSおよびツールにおける設定基本操作が可能である事を前提に説明します。

上記の基本操作が分からない方は、先ず同梱されている設定マニュアルをご確認ください。

設定変更を行う前に必要に応じ、設定データのバックアップを行ってください。

(変更履歴)

2014/01/23

新規 第1版発行

2014/03/10

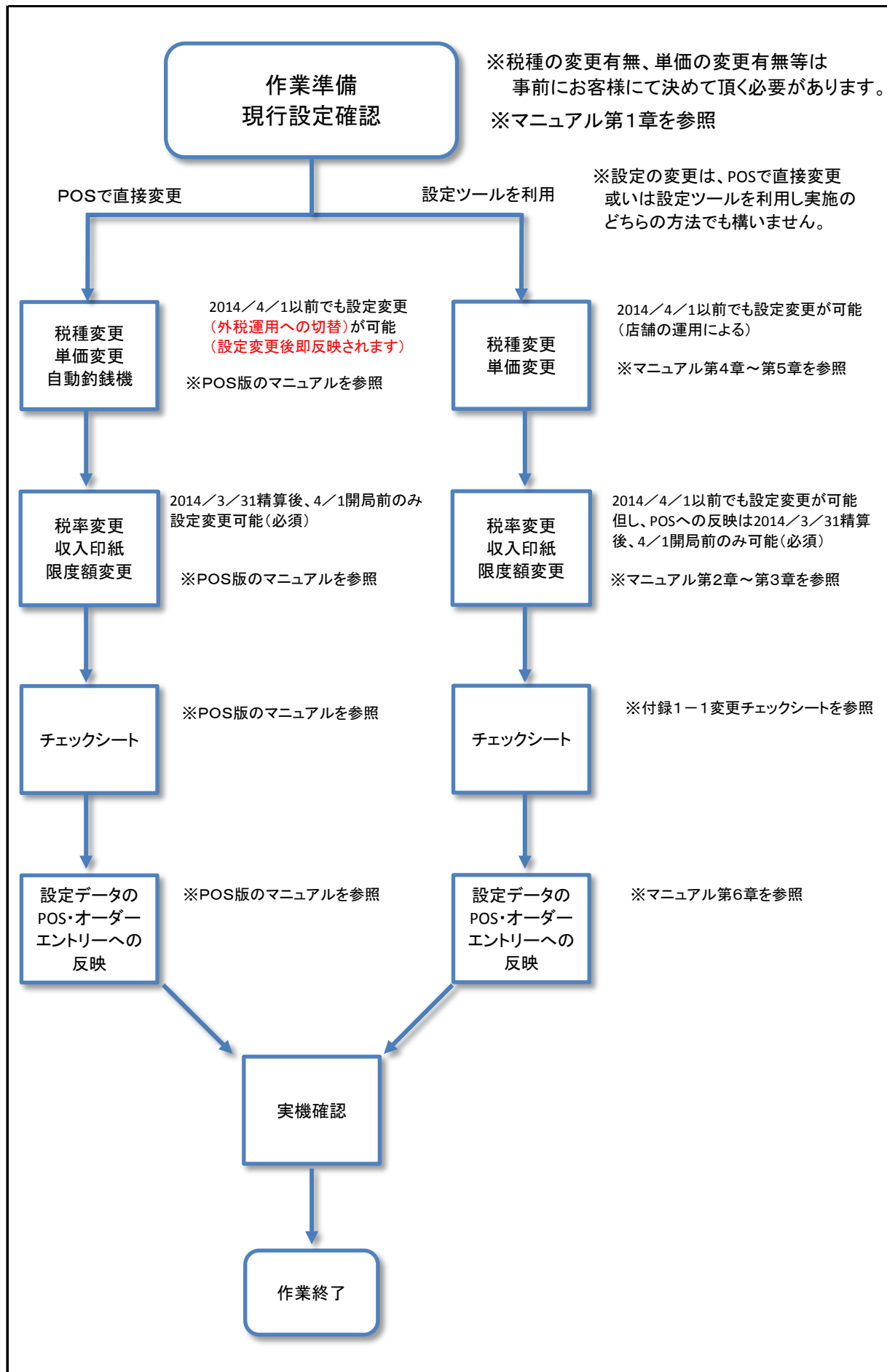
第2版発行

「設定変更フローチャート」、「付録1-1 設定変更
チェックシート」に文言を修正追記

4-6 レシート印字/POS表示名称 (POS表示名称設定)

外税記号 (No.97) (誤) → (No.99) (正)

設定変更フローチャート



目 次

はじめに	-2-
設定変更フローチャート	-3-
目次	-4-
第1章 現行設定の確認	-5-
1-1 現行設定の確認	-6-
第2章 消費税税率変更について	-7-
2-1 消費税税率変更 (税金／奉仕料設定)	-8-
第3章 収入印紙限度額変更について	-10-
3-1 収入印紙発行限度額変更 (印紙レシート発行限度額設定)	-11-
第4章 税種変更について	-13-
4-1 部門税種変更 (部門テーブル設定)	-14-
4-2 メニュー税種変更 (メニュー設定)	-16-
4-3 税ステータスオプション変更 (消費税オプション設定)	-18-
4-4 奉仕料計算方式 (奉仕料／特消費税オプション設定)	-20-
4-5 席料税種変更 (税金／奉仕料設定)	-22-
4-6 レシート印字／POS表示名称 (印字／表示名称設定)	-24-
4-7 取引別名称設定 (取引別レポート印字名称設定)	-27-
4-8 テーブルマスタ奉仕料税種変更 (テーブルマスタ設定)	-29-
4-9 会計伝票(CCPフォーマット) 外税区分枠追加 (CCPフォーマット設定)	-30-
第5章 単価変更・・・ユーザーにより実施有無及び実施時期は異なります。	-35-
5-1 部門 単価設定 (部門テーブル設定)	-36-
5-2 メニュー 単価設定 (メニュー設定)	-38-
5-3 バーコードメニュー 単価設定 (※POSで変更)	-40-
第6章 設定データのPOSへの反映	-41-
6-1 設定データの保存／復元／オーダーステーションへの配信	-42-
6-2 予約作成	-44-
付録1 設定変更確認について	-45-
付録1-1 設定変更チェックシート	-46-

第1章 現行設定確認

本章では、POSの現行設定について確認します。

1-1 現行設定の確認

<div><div>2013年 7月12日(金)12時42分000101</div><div><div>さくら弁当 ¥980</div><div>にぎわい弁当 ¥880</div><div>日替わりランチ ¥980</div><div>寿司和膳 ¥1,580</div></div><div><div>小計額 ¥4,420</div><div>内税対象額 (内税) ¥4,420</div><div>合計 ¥210</div><div>合計 ¥4,420</div><div>預/現計 ¥10,000</div><div>お金 5,580</div><div>合計点数 4点</div></div><div><div>01 扱磯川</div><div>No.0029</div></div></div>	<div>①現行レシートに【内】、【内税】、【消費税 等】が印字されているか印字内容を確認し、下記□にチェックします。</div> <div><div>【内】印字</div><div>ある□</div><div>ない□</div><div>【内税】印字</div><div>ある□</div><div>ない□</div><div>【消費税 等】印字</div><div>ある□</div><div>ない□</div></div>																							
<div><div>日言計精算レポート</div><div>営業日付: 2013年 7月12日</div><div><div>店内部門総売上(税抜) 204点 ¥69,138</div><div>持帰部門総売上(税抜) 0点 ¥0</div></div><div><div>奉仕料 ¥4,353</div><div>外税 ¥0</div></div><div><div>売上2 204点 ¥73,491</div><div>割引 4枚</div></div></div>	<div>②現行取引別レポートに【外税】が印字されているか印字内容を確認し、下記□にチェックします。</div> <div>※外税運用をしない場合は、本作業は不要です。</div> <div><div>【外税】印字</div><div>ある□</div><div>ない□</div></div>																							
<div><div>御計算書</div><div><div>伝票NO 2</div><div>テーブルNO 2</div><div>人数 2</div><div>担当 1 田中</div></div><table><thead><tr><th>数</th><th>メニュー名</th><th>金額</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>ミートグラタン</td><td>1,050</td><td>内</td></tr><tr><td>小計</td><td></td><td>1,050</td><td></td></tr><tr><td>奉仕料</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>外税</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>1,050</td><td></td></tr></tbody></table><div><div>2013年11月14日 21:14</div><div>伝票NO2</div></div><div><div>111</div></div></div>	数	メニュー名	金額		1	ミートグラタン	1,050	内	小計		1,050		奉仕料		0		外税		0		合計		1,050	
数	メニュー名	金額																						
1	ミートグラタン	1,050	内																					
小計		1,050																						
奉仕料		0																						
外税		0																						
合計		1,050																						

第2章 消費税税率変更について

本章では、POSの消費税税率を5%から8%に変更する設定について説明します。

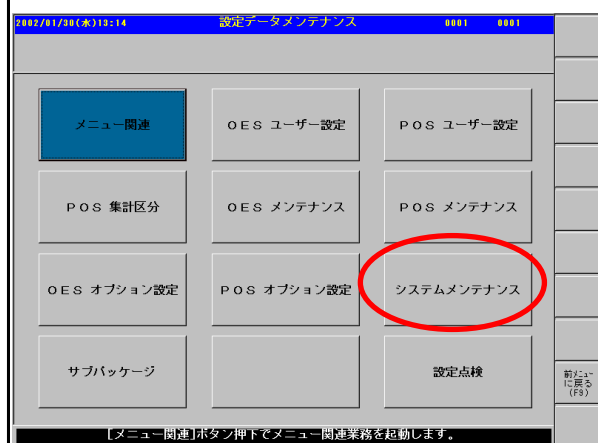
本設定は、お客様の内税、外税運用に関わらず、2014年4月1日営業日から適用が必須です。

2-1 消費税税率変更

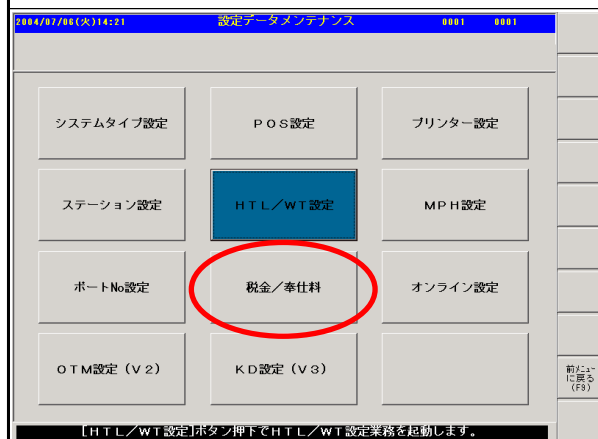


本手順では、消費税税率の変更手順について説明します。

- ①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



- ②《システムメンテナンス》を押下します。



- ③《税金／奉仕料》を押下します。




- ④【消費税】タブの課税1～課税5に[0800]を入力します。値が8.00%になる事を確認します。

※奉仕料の税種は、課税5を参照します。
※奉仕料の運用方式が外税の場合は、課税5で[外税]を選択します。
※奉仕料の運用方式が内税の場合は、課税5で[内税]を選択します。
[2-1 消費税税率変更]で設定して下さい。

(注) V5.0(総額表示対応)以前は課税1～5で最初に見つかった外税で計算されます。


2-1 消費税税率変更



⑤『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

⑥課税1～課税5の種別を確認し、下記に○で囲みます。

【課税1】 外税／内税
 【課税2】 外税／内税
 【課税3】 外税／内税
 【課税4】 外税／内税
 【課税5】 外税／内税



課税1税率を入力して下さい。(0～99.99)

⑦『終了』を押下します。

第3章 収入印紙限度額変更について

本章では、POSの収入印紙発行限度額を30,000円から50,000円に変更する設定について説明します。

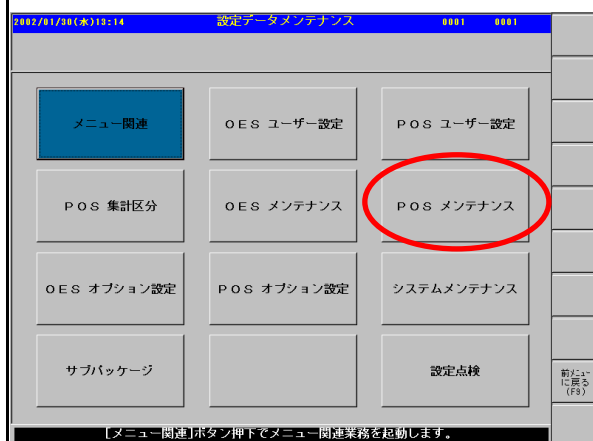
本設定は、お客様の内税、外税運用に関わらず、2014年4月1日営業日から適用が必須です。

3-1 収入印紙発行限度額変更

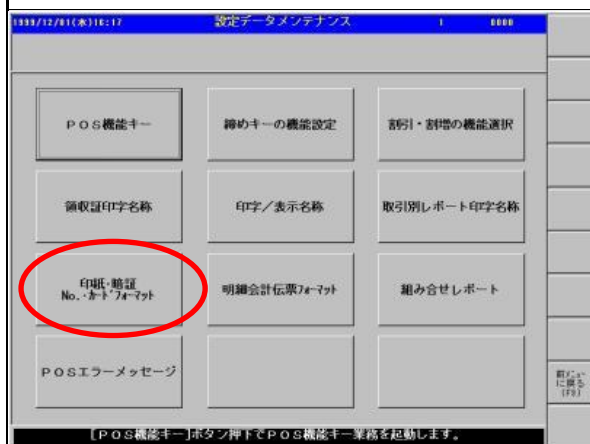


本手順では、収入印紙発行限度額の変更手順について説明します。

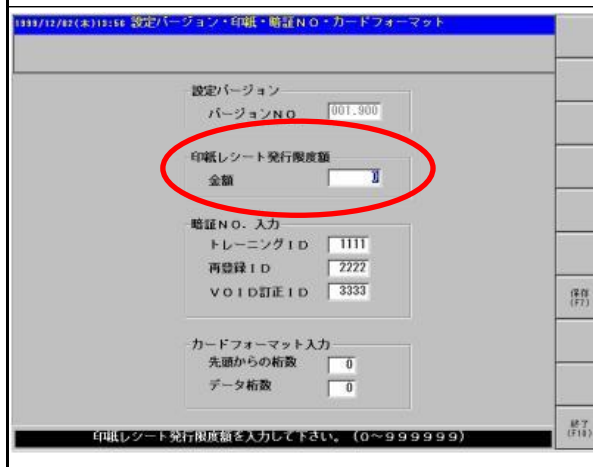
- ①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



- ②《POSメンテナンス》を押下します。



- ③《印紙・暗証No.・カードフォーマット》を押下します。

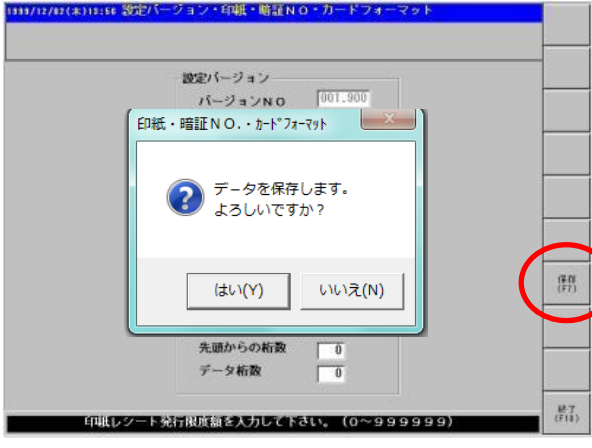


印紙シートおよび印紙メッセージ・印字領収証を発行する最低金額を入力します。

- ④金額に[50000]を入力します。

(注)
[0] ゼロを入力すると印紙シート発行無となります。

3-1 収入印紙発行限度額変更

	<p>⑤『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。</p>
	<p>⑥『終了』を押下します。</p>

第4章 税種変更について

本章では、POSの税種を変更する場合の設定について説明します。

本設定は、店舗の運用に合わせて、2014年4月1日以前でも設定変更可能です。

席料運用を行わない場合は、《4-5 席料税ステータス変更》は作業不要です。

奉仕料運用を行わない場合は、《4-4 奉仕料オプション変更》及び
《4-8 テーブルマスタ奉仕料税種変更》は、作業不要です。

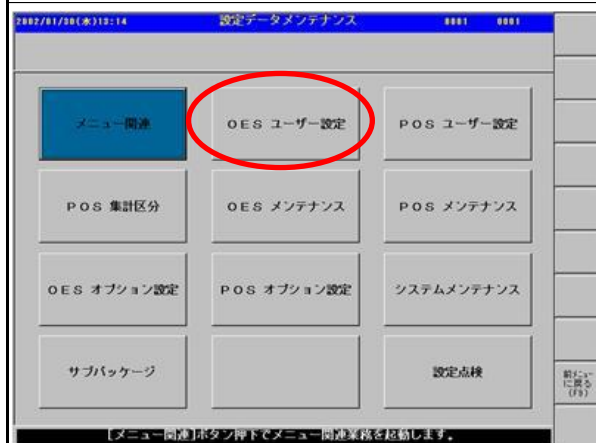
オーダーエントリーシステムを使用しない場合は、《4-9 会計伝票(CCPフォーマット)
外税印字設定変更》は、作業不要です。

4-1 部門税種変更

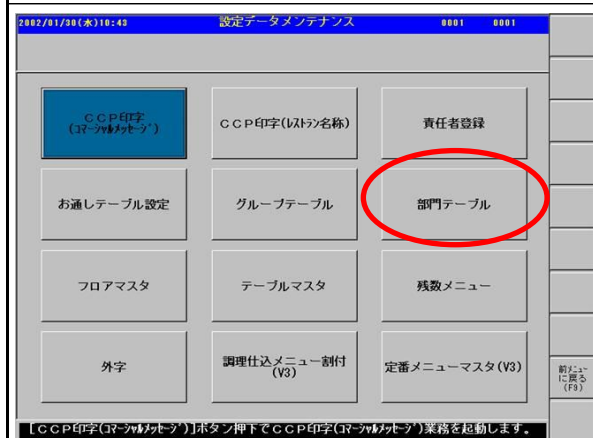


本手順では、部門の税種変更手順について説明します。

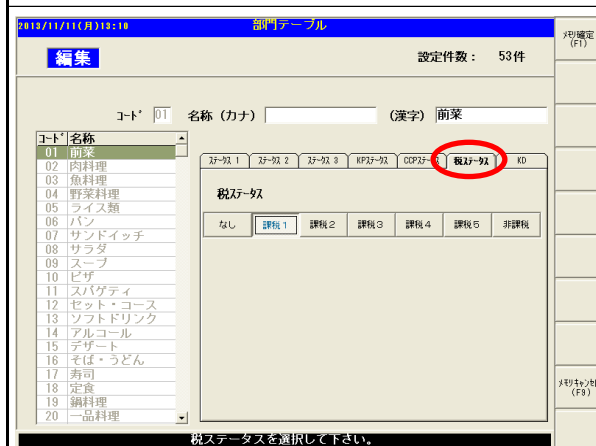
①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



②《OESユーザー設定》を押下します。



③《部門テーブル》を押下します。



④対象部門を選択し、【税ステータス】タブを押下し、選択します。

※税ステータスは、[2-1消費税率の変更手順]でメモした種別を参照します。

※例: 課税1が外税の場合、課税1を選択します。
※対象部門をすべて、変更します。

(注) [なし]は、
[4-3 税種オプション]の設定内容に従います。

4-1 部門税種変更

2015/11/11(月) 10:10 部門テーブル

編集 設定件数: 53件

コード: 01 名称(カナ): (漢字) 前菜

コード	名称
01	前菜
02	肉料理
03	魚料理
04	野菜料理
05	ライス類
06	パン
07	サンドイッチ
08	サラダ
09	スープ
10	ピザ
11	スパゲティ
12	セット・コース
13	ソフトドリンク
14	アルコール
15	デザート
16	そば・うどん
17	寿司
18	定食
19	鍋料理
20	一品料理

【F1】キー又は【メモリ確定】ボタン押下でデータをメモリに保存します。

⑤『メモリ確定』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

4-2 メニュー税種変更



本手順では、メニューマスタの税種変更手順について説明します。

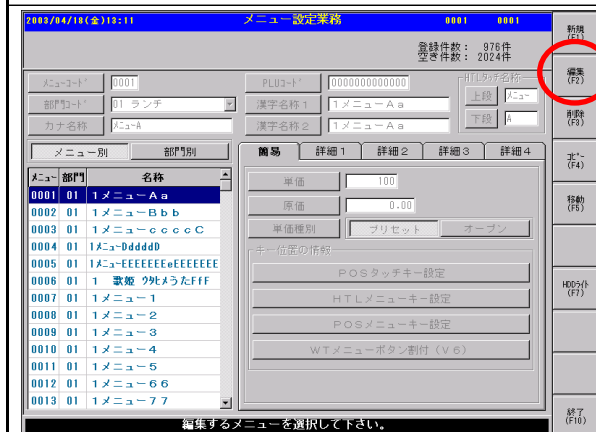
- ①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



- ②《メニュー関連》を押下します。



- ③《メニュー設定》を押下します。



- ④対象メニューを選択し、『編集』を押下します。

4-2 メニュー税種変更

⑤【詳細2】タブを押下し、税ステータスを選択します。
※税ステータスは、[2-1消費税率の変更手順]でメモした種別を参照します。

※例：課税1が外税の場合、課税1を選択します。
※対象メニューをすべて、変更します。

(注) [無し]は、
[4-3 税種オプション]の設定内容に従います。

⑥『メモリ確定』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

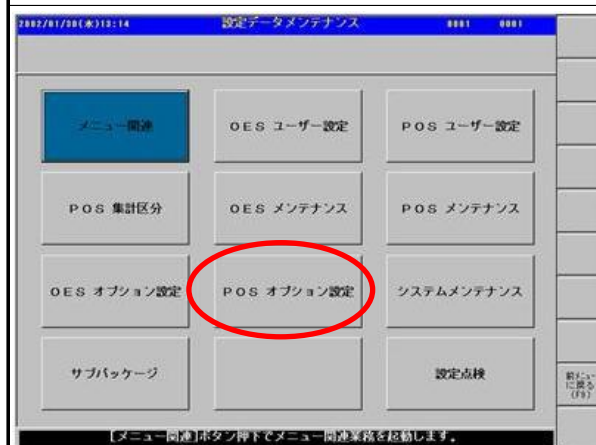
⑦『終了』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

4-3 税ステータスオプション変更

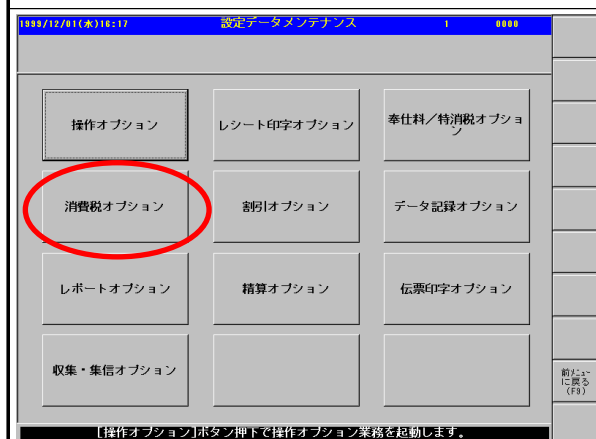


本手順では、税ステータス[無し]と設定されている部門及びメニューの税種の設定方法について説明します。

①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



②《POSオプション設定》を押下します。



③《消費税オプション設定》を押下します。



④部門及びメニュー設定で「税ステータス」が「無し」に設定されている部門及びメニューの課税区分をここで選択します。

4-3 税ステータスオプション変更

	<p>⑤『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。</p>
	<p>⑥『終了』を押下します。</p>

4-4 奉仕料計算方式

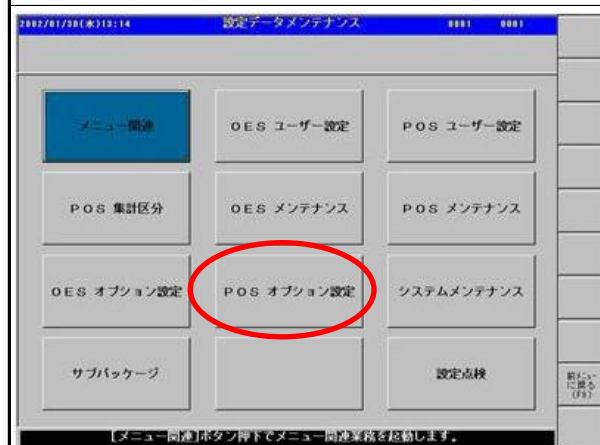


本手順では、奉仕料計算方法を変更する場合の手順について説明します。

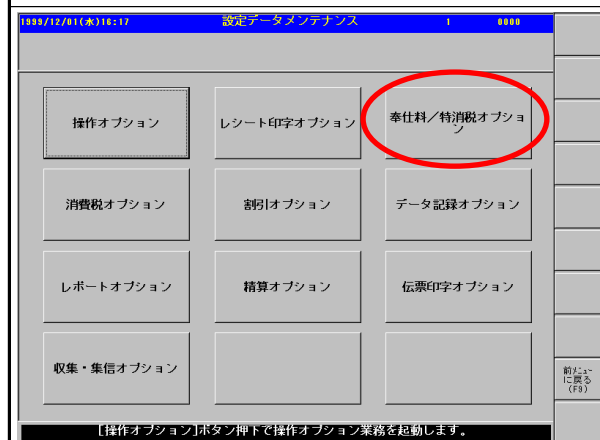
※奉仕料運用を行わない場合は、本作業は不要です

①《設定データメンテナンス》を押下します。

※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



②《POSオプション設定》を押下します。



③《奉仕料／特消費税オプション設定》を押下します。



④奉仕料計算を「小計」を対象として計算するか「内税抜き」金額をを対象に計算するか選択してください。

※計算された奉仕料の税種は、課税5を参照します

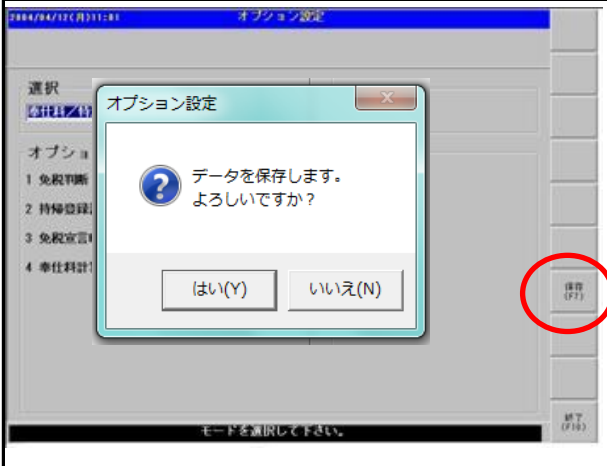
※奉仕料の運用方式が外税の場合は、課税5で[外税]を選択します。

※奉仕料の運用方式が内税の場合は、課税5で[内税]を選択します。

[2-1消費税率変更]で設定して下さい。

(注)V5.0(総額表示対応)以前は課税1～5で最初に見つかった外税で計算されます。

4-4 奉仕料計算方式

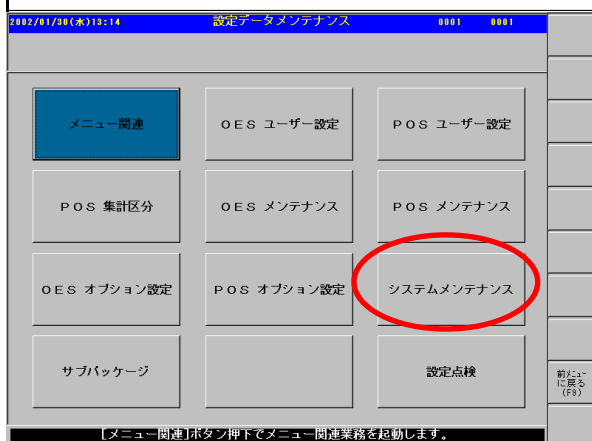
	<p>⑤『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。</p>
	<p>⑥『終了』を押下します。</p>



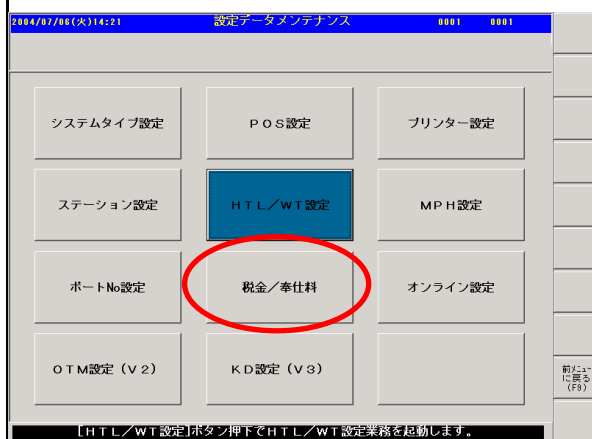
本手順では、席料の税ステータスの変更手順について説明します。

※席料運用を行わない場合は、本作業は不要です

①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



②《システムメンテナンス》を押下します。



③《税金／奉仕料》を押下します。



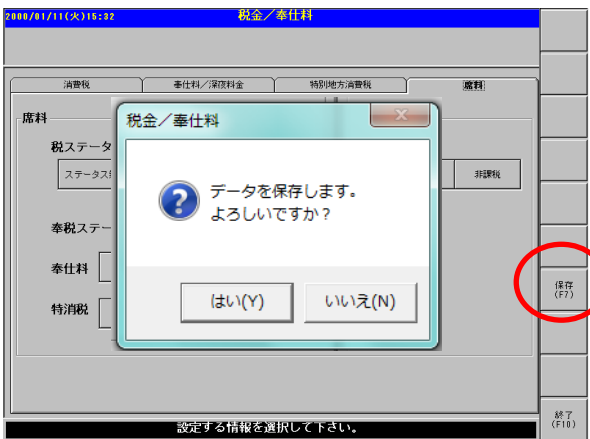
④【席料】タブを押下し、税ステータスを選択します。

※席料の税ステータスは、店舗の運用により異なります。

※税ステータスは、[2-1消費税率の変更手順]でメモした種別を参照します。

例：席料を外税方式に運用する場合は、課税1から課税5の税ステータスで外税の課税を選択します。

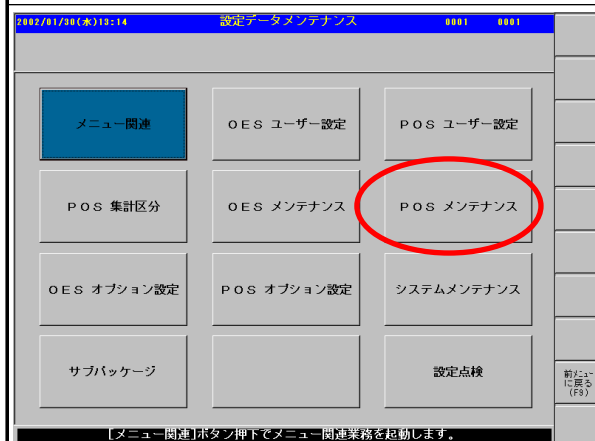
4-5 席料税種変更

	<p>⑤『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。</p>
	<p>⑥『終了』を押下します。</p>

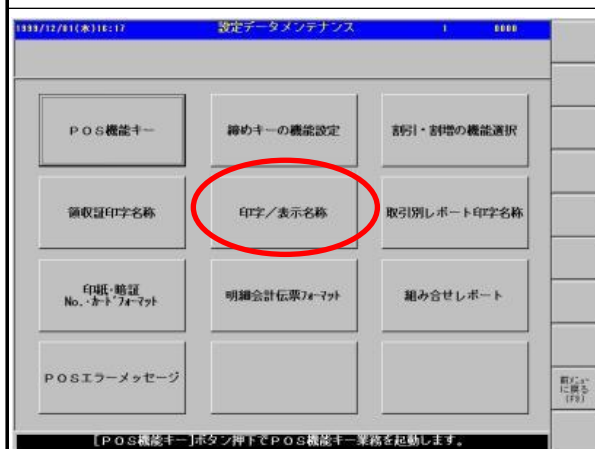


本手順では、レシート印字の税種変更手順について説明します。
 <レシート印字名称設定(確認)>

① <設定データメンテナンス>を押下します。
 ※グループコードと店舗コードを選択して
 【実行】を押下します。



② <POSメンテナンス>を押下します。



③ <印字／表示名称>を押下します。

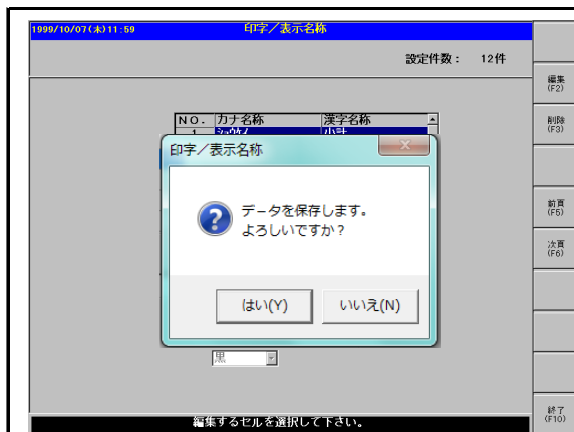


④ 外税対象額(No.22)、外税(No.23)、外税記号(No.99)の名称を確認します。

※[2-1消費税率変更]でメモした課税種別を確認し、課税1が外税だった場合は、外税対象(No.22)に[外税対象額]を入力します。外税(No.23)に[外税]を入力します。外税記号(No.99)に[外](又は[])を入力します。

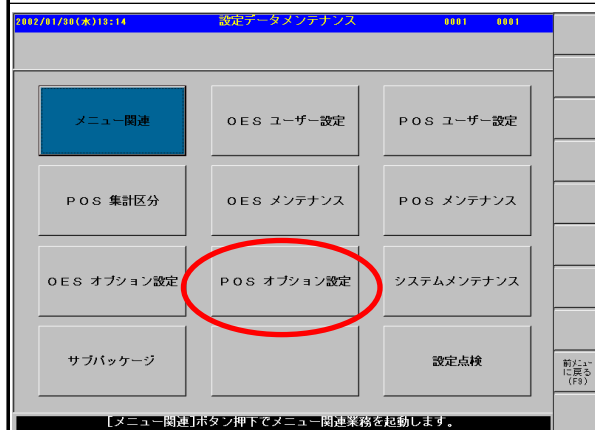
該当項目を選択し、【編集】を押下して入力してください。

4-6 レシート印字／POS表示名称



⑤『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

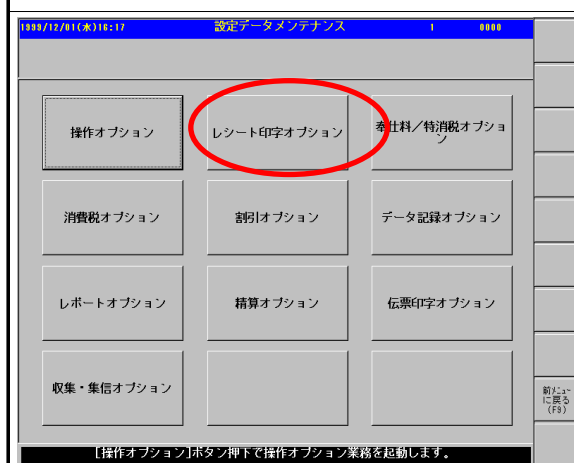
『終了』を押下します。



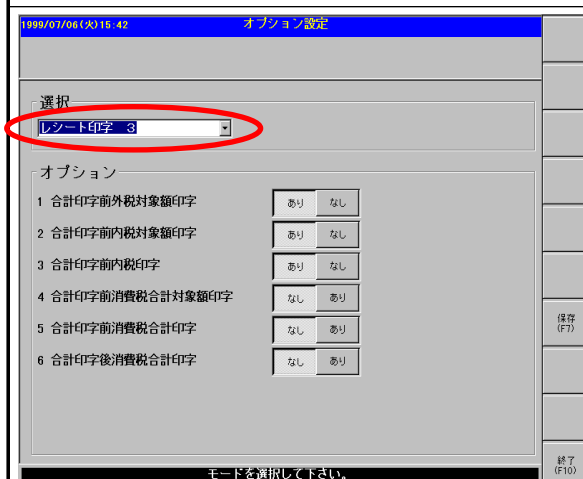
＜レシートへの外税印字(確認)＞

⑥＜POSオプション設定＞を押下します。

※外税額は設定によらず常に印字します。



⑦＜レシート印字オプション＞を押下します。

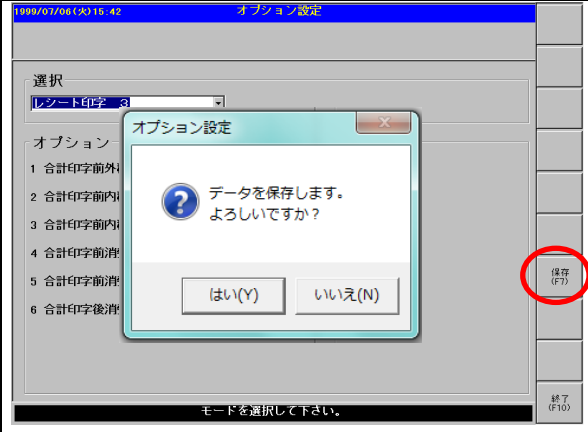


⑧【レシート印字 3】を選択します。

必要に応じて印字項目を選択します。

※ 外税額は設定によらず常に印字します

4-6 レシート印字／POS表示名称

	<p>⑨『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。</p>
	<p>⑩『終了』を押下します。</p>

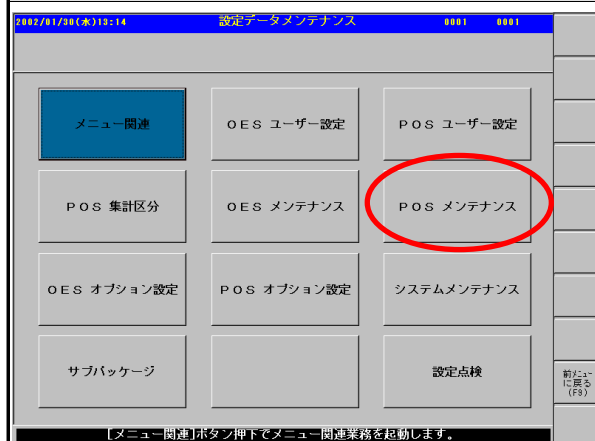
4-7 取引別名称設定



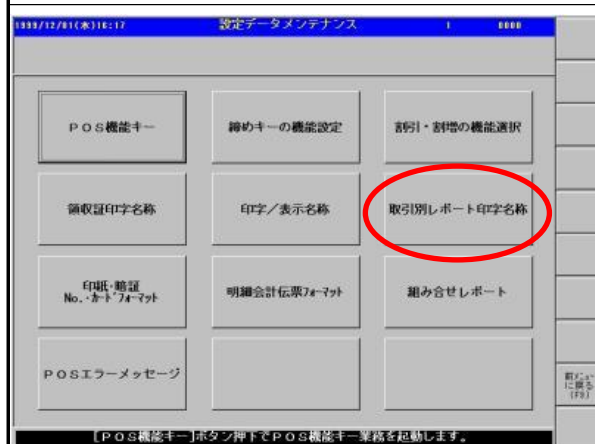
本手順では、取引別レポートの税種(外税)印字手順について説明します。

※[1-1 現行設定の確認]②で【外税】の印字がある場合は、本作業は不要です。

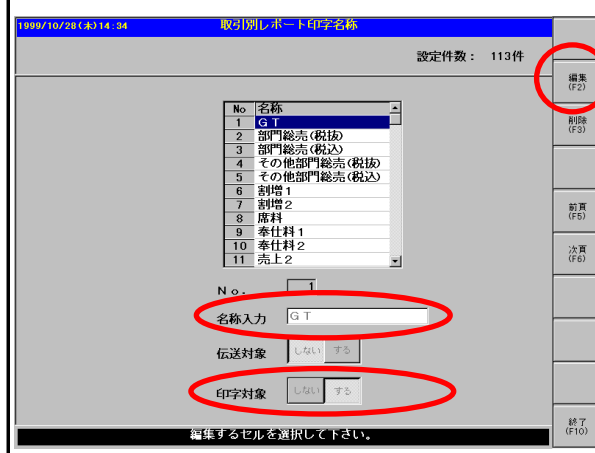
①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



②《POSメンテナンス》を押下します。



③《取引別レポート印字名称》を押下します。

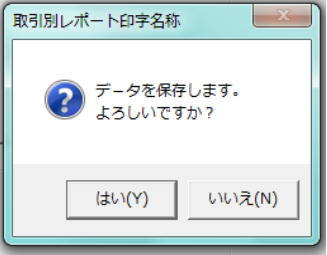


④各項目を選択後【編集】を押下します。

※各項目の“名称”と“印字対象”を必要に応じて設定します。

No.28 課税1額	No.69 課税1対象額
No.29 課税2額	No.70 課税2対象額
No.30 課税3額	No.71 課税3対象額
No.31 課税4額	No.72 課税4対象額
No.32 課税5額	No.73 課税5対象額

4-7 取引別名称設定

	<p>⑤『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。</p>

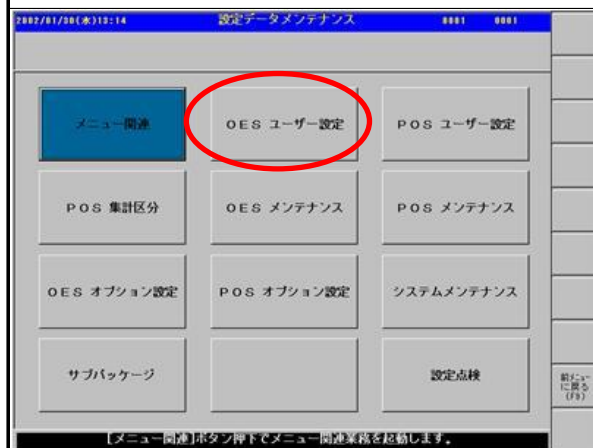
4-8 テーブルマスタ奉仕料税種変更



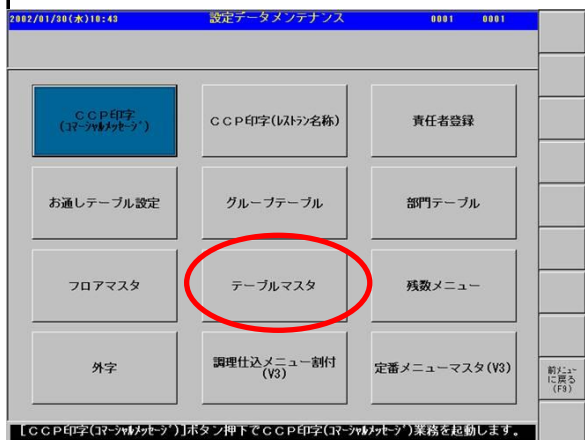
本手順では、テーブルマスタの奉仕料税種変更手順について説明します。

※奉仕料運用を行わない場合および深夜料自動計算運用の場合は、本作業は不要です

①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



②《OESユーザー設定》を押下します。



③《テーブルマスタ》を押下します。



③各テーブルの【奉税区分】を確認します。
(奉仕料無し、奉1、奉2)

※奉仕料の税ステータスは、店舗の運用により異なります。必要に応じ変更します。

※奉仕料の税種は、課税5を参照します

※奉仕料を外税方式に運用される場合は、[奉1]を選択し、税率変更手順で課税5を[外税]に設定します。

※奉仕料を内税方式に運用される場合は、[奉1]を選択し、税率変更手順で課税5を[内税]に設定します。

(注)V5.0(総額表示対応)以前は課税1～5で最初に見つかった外税で計算されます。

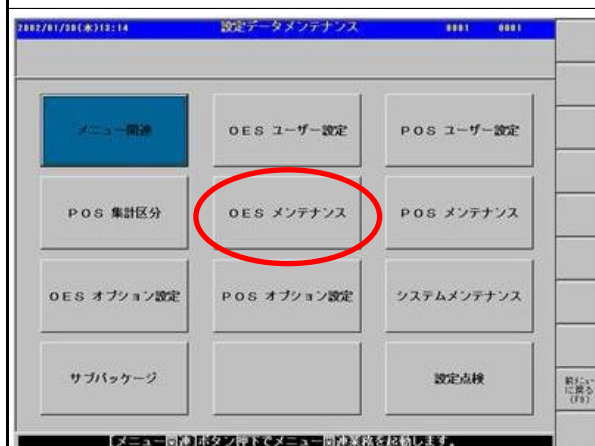
4-9 会計伝票(CCPフォーマット) 外税区分枠追加



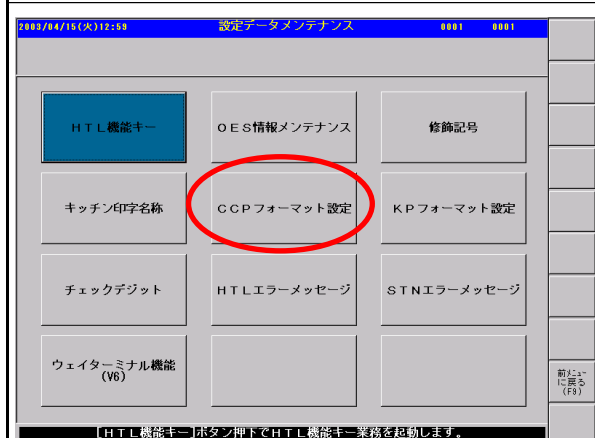
本手順では、会計伝票(CCP)の税種(外税)印字手順について説明します。

※[1-1 現行設定の確認]の③で会計伝票に【外税】の印字がある場合は、本手順の作業は不要です。

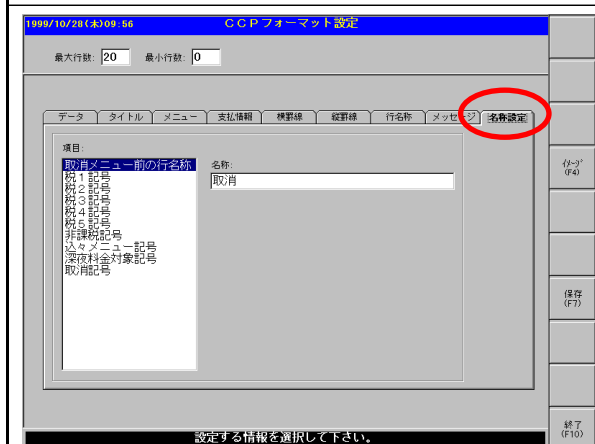
①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



②《OESメンテナンス》を押下します。



③《CCPフォーマット設定》を押下します。



④【名称設定】タブを押下し、税1記号～税5記号の名称を確認します。

※[2-1 消費税税率]の変更手順でメモした種別を参照します。
課税1が外税だった場合は、税1記号に[外]を入力します。
課税2が内税だった場合は、税2記号に[内]を入力します。

※税1記号～税5記号をすべて変更します。

4-9 会計伝票(CCPフォーマット) 外税区分枠追加



⑤『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

※ここからは
会計伝票の「合計」を印字している行に「外税」を
印字するように変更する場合の
手順を示します。



<概略>

- 1) 「合計」印字の設定内容を確認
- 2) 「小計」印字の設定内容を確認
- 3) 「合計」印字行に「外税」を設定
行NOは「合計」の値-1、カラムは「小計」の値とする
- 4) 「合計」印字行以下を下げる
- 5) 罫線を延ばす

⑥【支払情報】タブを押下し、【合計名称】を選択します。



⑦【合計名称】の設定内容を確認します。
【行:】【桁:】【属性:】の値を空欄にメモします。

【行:】____【桁:】____【属性:】____。
例)合計名称
【行:】_3_【桁:】_20_【属性:】縦4横倍



⑧【小計名称、金額】の設定内容を確認します。
【行:】【桁:】【属性:】の値を空欄にメモします。
小計名称
【行:】____【桁:】____【属性:】____。
小計金額
【行:】____【桁:】____【属性:】____。

例)小計名称
【行:】_0_【桁:】_20_【属性:】縦倍横倍
例)小計金額
【行:】_0_【桁:】_50_【属性:】縦倍横倍

4-9 会計伝票(CCPフォーマット) 外税区分枠追加

010/11/11(月)13:28 CCPフォーマット設定

最大行数 15 最小行数 1

データ タイトル メニュー 支払情報 横罫線 縦罫線 行名称 メッセージ 名称設定

項目: データ

小計名称 金額
前受け名称 (V3) 金額
奉仕料名称 (V3) 金額
席料名称 金額
特別地方消費税名称 金額
外税名称 金額
合計名称 金額
伝票連N.O. 日付時刻

行: 0 桁: 0

属性:

通常	縦倍	横倍	縦倍横倍
	縦4横倍	縦倍横4	縦4横4

左右詰め: 左詰め 右詰め

名称: 外税

終了 (F10)

編集する項目を選択して下さい。

⑨【外税名称】を選択します。

【行:】に⑦でメモした値-1を入力します。
【桁:】【属性:】に⑧でメモした値を入力します。

【左右詰め:】で[右詰め]を選択します。
【名称:】に[外税]を入力します。

例)外税名称

【行:】 2 【桁:】 20 【属性:】縦倍横倍

010/11/15(月)13:46 CCPフォーマット設定

最大行数 15 最小行数 1

データ タイトル メニュー 支払情報 横罫線 縦罫線 行名称 メッセージ 名称設定

項目: データ

小計名称 金額
前受け名称 (V3) 金額
奉仕料名称 (V3) 金額
席料名称 金額
特別地方消費税名称 金額
外税金額 金額
合計名称 金額
伝票連N.O. 日付時刻

行: 0 桁: 0

属性:

通常	縦倍	横倍	縦倍横倍
	縦4横倍	縦倍横4	縦4横4

左右詰め: 左詰め 右詰め

名称: 外税

終了 (F10)

編集する項目を選択して下さい。

⑩外税名称下の【金額】を選択します。

【行:】に⑦でメモした値-1を入力します。
【桁:】【属性:】に⑧小計金額でメモした値を入力します。
【左右詰め:】で[右詰め]を選択します。

例)外税金額

【行NO】 2 【カラム】 50 【属性】縦倍横倍

010/11/11(月)13:28 CCPフォーマット設定

最大行数 15 最小行数 1

データ タイトル メニュー 支払情報 横罫線 縦罫線 行名称 メッセージ 名称設定

項目: データ

小計名称 金額
前受け名称 (V3) 金額
奉仕料名称 (V3) 金額
席料名称 金額
特別地方消費税名称 金額
外税名称 金額
合計名称 金額
伝票連N.O. 日付時刻

行: 4 桁: 20

属性:

通常	縦倍	横倍	縦倍横倍
	縦4横倍	縦倍横4	縦4横4

左右詰め: 左詰め 右詰め

名称: 合計

終了 (F10)

編集する項目を選択して下さい。

⑪【合計名称】を選択します。

【行:】に[⑦でメモした値+1の値]を入力します。

例)合計名称

【行:】 4 【桁:】 20 【属性:】縦4横倍

010/11/11(月)13:28 CCPフォーマット設定

最大行数 15 最小行数 1

データ タイトル メニュー 支払情報 横罫線 縦罫線 行名称 メッセージ 名称設定

項目: データ

小計名称 金額
前受け名称 (V3) 金額
奉仕料名称 (V3) 金額
席料名称 金額
特別地方消費税名称 金額
外税名称 金額
合計名称 金額
合計金額 金額
伝票連N.O. 日付時刻

行: 3 桁: 28

属性:

通常	縦倍	横倍	縦倍横倍
	縦4横倍	縦倍横4	縦4横4

左右詰め: 左詰め 右詰め

名称: 合計

終了 (F10)

編集する項目を選択して下さい。

⑫合計名称下の【金額】を選択します。

【行:】に[⑦でメモした値+1の値]を入力します。

例)合計金額

【行:】 4 【桁:】 28 【属性:】縦4横倍

※ここからは
「外税」行を追加したので縦罫線を1行分
延ばします

4-9 会計伝票(CCPフォーマット) 外税区分枠追加

⑬【縦罫線】タブを押下し、【支払情報部縦線1】を選択します。

【終了行:】の値を空欄にメモします。

【終了行:】_____。

【終了行:】の[⑬でメモした値+1の値]を入力し、上書きします。

⑭【支払情報部縦線2】を選択します。

【終了行:】に値が入っている場合は、上記⑬で入れた値と同じ数値を入力し、上書きします。

※【支払情報部縦線2】～【支払情報部縦線10】を順次確認し、⑬と同じ操作をします。

⑮【メッセージ】タブを押下し、【コマーシャルメッセージ】【1行目】を選択します。

【行:】の値を空欄にメモします。

【行:】_____。

【行】の値が[0]の場合は、⑰に進んでください。

【行:】の値が[0]以外の場合は、[⑮でメモした値+1の値]を入力し、上書きします。

⑯【コマーシャルメッセージ】の【2行目】～【5行目】を順次確認し、行に0以外の値が入っている場合は、[+1の値]を入力し、上書きします。

行に[0]が入っている場合は、そのままにします。

4-9 会計伝票(CCPフォーマット) 外税区分枠追加

2019/11/11(月)13:00 CCPフォーマット設定

最大行数 15 最小行数 1

データ タイトル メニュー 支払情報 横罫線 縦罫線 行名称 メッセージ 名称設定

項目: データ

小計名称 金額
前受け名称 (V3) 金額
奉仕料名称 (V3) 金額
席料名称 金額
特別地方消費税名称 金額
外税名称 金額
合計名称 金額
伝票一連NO.
日付
時刻

行: 番:
4 28

属性:
通率 縦倍 横倍 縦倍横倍
縦4横倍 縦4横4 縦4横4

左右読め:
左読め 右読め

はい(Y) いいえ(N)

保存 (F7)

【F7】キー又は【保存】ボタン押下で編集データを保存します。

終了 (F10)

⑰『保存』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

2019/11/11(月)13:00 CCPフォーマット設定

最大行数 15 最小行数 1

データ タイトル メニュー 支払情報 横罫線 縦罫線 行名称 メッセージ 名称設定

項目: データ

小計名称 金額
前受け名称 (V3) 金額
奉仕料名称 (V3) 金額
席料名称 金額
特別地方消費税名称 金額
外税名称 金額
合計名称 金額
伝票一連NO.
日付
時刻

行: 番:
4 28

属性:
通率 縦倍 横倍 縦倍横倍
縦4横倍 縦4横4 縦4横4

左右読め:
左読め 右読め

【F4】キー又は【イメージ】ボタン押下でフォーマット画面を表示します。

終了 (F10)

⑱『終了』を押下します。

第5章 単価変更

本章では、単価変更の設定について説明します。

本設定は、店舗の運用に併せて、2014年4月1日以前でも設定変更可能です。

5-1 部門 単価変更

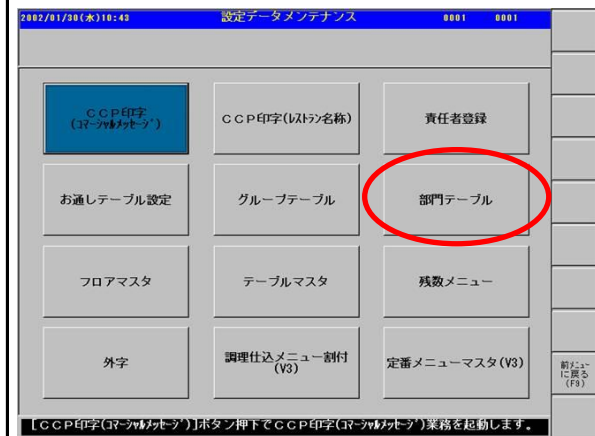


本手順では、部門マスタの単価変更手順について説明します。

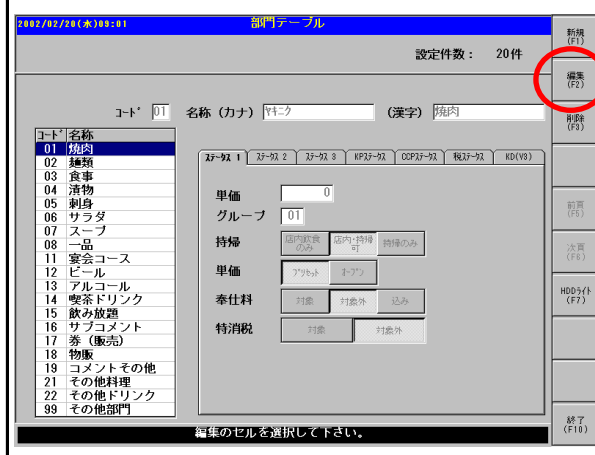
①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



②《OESユーザ設定》を押下します。



③《部門テーブル》を押下します。



④対象部門を選択し、『編集』を押下します。

5-1 部門 単価変更

部門テーブル
設定件数: 20件

コード: 01 名称 (カナ): 焼肉 (漢字): 焼肉

ステータス1 (単価) 単価: 0

グループ: 01

持帰: 店内飲食のみ 店内・持帰可 持帰のみ

単価: アット かつ

奉仕料: 対象 対象外 込み

特消費税: 対象 対象外

カナ名称を入力して下さい。

⑤【ステータス1】タブを押下し、単価を入力します。

※対象部門をすべて、変更します。

部門テーブル
設定件数: 20件

コード: 01 名称 (カナ): 焼肉 (漢字): 焼肉

メモリ確定 (F1)

データをメモリに保存します。
よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

カナ名称を入力して下さい。

⑥『メモリ確定』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

部門テーブル

データが更新されています。
保存しますか?

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

⑦『終了』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

5-2 メニュー 単価変更



本手順では、メニューマスタの単価変更手順について説明します。

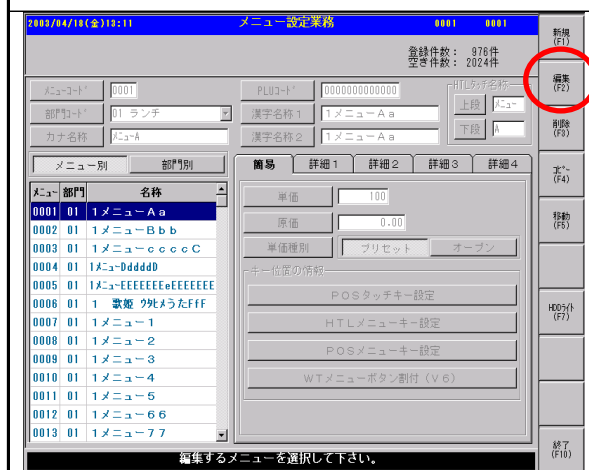
- ①《設定データメンテナンス》を押下します。
※グループコードと店舗コードを選択して【実行】を押下します。



- ②《メニュー関連》を押下します。



- ③《メニュー設定》を押下します。



- ④対象メニューを選択し、『編集』を押下します。

5-2 メニュー 単価変更

⑤【簡易】タブを押下し、単価を入力します。

※対象メニューをすべて、変更します。

※サブ単価がある場合は、【詳細1】タブを押下し、【サブ単価】を入力します。

⑥『メモリ確定』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

⑦『終了』を押下し、確認画面で『はい』を押下します。

5-3 バーコードメニュー 単価変更 (※POSで変更)

本手順では、PLUマスタの単価変更手順について説明します。

この業務は、POSで直接行ってください。
『設定ツール』にはありません。

下記は、POSでの操作方法です。

設定	
業務選択メニュー	
1. ユーザー設定	6. 日付時刻設定
2. OES設定	7.
3. エントリ設定	8. 設定保存
4. 外部機器SE設定	9. 設定復元
5. SE設定	
起動業務のNo. 入力で、業務が起動できます。	

《鍵位置－設定》

①『1. ユーザー設定』を選択してください。
([1]を押下する)

設定	
年月日()	
責任者No. :	
1. ユーザー設定	
1. 組み合わせレポート	14. 基本時間・料金設定
2. 時間帯集計区分	15. レストラン名称
3. 価格帯集計区分	16. POS部門キーテーブル
4. 客層集計区分	17. サブメディアキー 信計
5. 料理提供時刻集計区分	18. サブメディアキー 振計
6. 滞留時間帯集計区分	19. サブメディアキー クーポン
7. メニュー別時間帯別集計区分	20. 信計テーブル
8. コマーシャルメッセージ	21. 振計テーブル
9. 部門テーブル	22. クーポンテーブル
10. グループテーブル	23. 一括割付・タッチキー
11. 責任者	24. 一括割付・ハンディ
12. 店舗	25. 一括割付・POS
13. バーコードテーブル	26. 定時点検時間設定
終了	
業務NOを入力して下さい。 【預/現計】確定 【終了】終了	

②13. バーコードテーブル を選択します。

設定	
年月日()	
責任者No. :	
1. ユーザー設定	
13. バーコードテーブル	
設定件数 15 件	
JANコード	4901301030030
リンク部門コード	14
単価	200
終了	
JANコードを入力して下さい。 【預/現計】確定 【終了】終了	

③対象商品を選択し、部門にリンクしているか画面で確認します

※JANコードと部門コードを結びつけた場合は、この画面上の単価を変更します。

※JANコードとメニューコードを結びつけた場合そのメニューテーブルのリンク部門、単価で登録されます。但し、単価が本設定で入力されていれば、その単価が優先されるのでこの画面上の単価を変更します。

※対象PLUをすべて、変更します。

第6章 設定データのPOS・オーダーエントリーシステムへの反映

本章では、設定変更した設定データのPOS・オーダーエントリーへの反映について説明します。

6-1 設定データの保存／復元／配信



本手順では、設定データのFDKへの保存とPOSでの復元について説明します。

●設定データのFDKへの保存手順

①「FDセーブ」を押下します。



②グループコードと店コードを選択して『実行』を押下します。

※予約ファイルがある場合は、予約ファイルもFDKに保存されます。

設定	
業務選択メニュー	
1. ユーザー設定	6. 日付時刻設定
2. OES設定	7.
3. エントリ設定	8. 設定保存
4. 外部機器SE設定	9. 設定復元
5. SE設定	
起動業務のNo. 入力で、業務が起動できます。	

●設定データのPOSへの復元

ここからは、POSでの作業になります。

※POSへの復元は、営業終了後(精算後) 或いは開局前に実施してください。

③設定保存FDをドライブにセットして 鍵を『設定』に回して下さい。 『9.設定復元』を選択してください。 ([9]を押下する)

設定	
** 設定復元 **	
1. 全設定	
2. SE設定	
3. ユーザー設定	
4. ログ設定	
5. 予約設定	
◎フロッピー内の設定データをPOSにロードします。 (フロッピー → POS)	
機能No. を入力し、[預/現計] を押下して下さい。 入力 [預/現計] 業務終了 [終了]	

④『1. 全設定』を選択して実行してください。 ([1][預/現計][預/現計]と押下する)

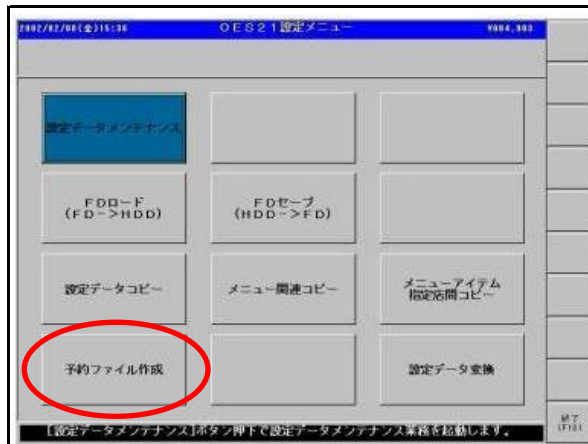
※復元が開始され、③の画面に戻ります。

予約ファイルがある場合は 『9.設定復元』を選択して ([9]を押下する) 『5. 予約設定』を選択してください。 ([5][預/現計][預/現計]と押下する)

※復元が開始され、③の画面に戻ります。

[illegible]

6-2 予約作成



本手順では、予約ファイルの作成手順について説明します。

①《予約ファイル作成》を押下します。



②グループコードと店コードを選択して予約日付を西暦の8桁で入力してください。

＜例＞

YYYYMMDD⇒YYYY年MM月DD日の開店業務でPOSに取り込まれます。

00000000 ⇒翌日開店でPOSに取込まれます。

99999999 ⇒マニュアル操作で取込まれます。

③『実行』を押下することで、予約ファイルが作成されます。

付録 1 設定変更確認について

付録 1-1 設定変更チェックシート

消費税増税関連設定変更チェックシート
(FS-87/オーダーストリーム21版)

担当者氏名： _____

日 付： _____

1. 消費税税率を5%から8%に変更又は確認しました（必須） ☐
2. 収入印紙発行限度額を30,000円から50,000円に変更又は確認しました（必須） . ☐
3. 部門の税種（内税、外税）を運用に合せて変更又は確認しました。 ☐
4. メニューの税種（内税、外税）を運用に合せて変更又は確認しました。 ☐
5. 税ステータスオプションを運用に合せて変更又は確認しました。 ☐
6. 奉仕料の税種（内税、外税）を運用に合せて変更又は確認しました。 ☐
7. 席料の税種（内税、外税）を運用に合せて変更又は確認しました。 ☐
8. レシートの印字内容を運用に合せて変更又は確認しました。 ☐
（内マーク印字、外マーク印字、内税印字、外税印字、消費税 等印字）
9. 取引別精算シートに税（内税、外税）印字を運用に合せて変更又は確認しました。 . ☐
10. テーブルマスタの奉税区分を運用に合せて変更又は確認しました。 ☐
11. 会計伝票に外税印字を運用に合せて追加又は印字を確認しました。 ☐
12. 部門の単価を運用に合せて変更又は確認しました。 ☐
13. メニューの単価を運用に合せて変更又は確認しました。 ☐
14. バーコードの単価を運用に合せて変更又は確認しました。 ☐

注意点：

- ・項目1～2については、2014年4月1日(火)営業日からの適用が必須です。
- ・項目3～14については、店舗の運用に合せて2014年4月1日(火)以前の適用（**運用の切替**）が可能です。

※POSで直接設定変更を行った場合は、設定が即反映されます。

※オーダーエントリーシステムや子機がある場合は、必ず設定配信を行ってください。

TOSHIBA
Leading Innovation >>>